

# 知床の窓から見えるもの

2014年6月2日（月曜日）

「知床羅臼と人工透析」

診療所透析室の臨床工学技士です。

皆さんは、人工透析をご存じでしょうか？

聞いたことはあるけれど、よくわからないという方が多いかもしれません。

透析とは、腎臓の代わりに機械で体から老廃物を取り除き、血液をきれいにする治療です。

透析をされている患者様は、全国で27万人いるといわれています。

透析は、週に3回、3～4時間以上、永年にわたり継続して行わなければなりません。

診療所透析室は平成24年10月に開設し、現在5人の透析患者様の治療を行っています。

透析室が開設されるまで、透析患者様は70km離れた町立中標津病院まで通院していました。

「地元、羅臼で透析ができるようになって、体の負担が軽くなった」と皆さん元気に通院されています。

また、診療所透析室は旅行透析の受け入れを行っています。

開設から現在までに3名の方が利用し、知床を旅行されています。

中には昨年も利用しているリピーターさんもいらっしゃいます。

知床羅臼は、世界自然遺産に認定されている自然豊かな町で、多くの観光客が訪れます。

知床旅行をお考えの透析患者様は、当診療所までご相談ください。

